



12月19日の朝、金子町長は多くの住民や職員から歓迎を受け、決意新たに初登庁しました

町民の負託を受け、金子町長の二期目がスタートしました。依然として厳しい経済情勢が続く、町税などの落ち込みなどから今後の行財政運営も予断を許さない状況の中、町の舵取り役として町政を託された金子町長。今後どのように町政を進めていくのか、課題への取り組み、町の将来像など、お話しを伺いました。

やさしさと活気の 調和したまち「おうら」 を目指します。

堅実な行財政運営を 心掛けた町づくり

多くの町民の皆さんにご支援をいただき当選することができました。町長として二期目のスタートを切り、その責任の重大さを改めてかみしめています。

現在も続く厳しい経済情勢の中、町政を運営していくうえで、大きな指針となるのは邑楽町総合計画で



12月5日、当選証書付与式が行われ、町選挙管理委員会の飯塚香委員長から当選証書が手渡されました

町長選挙の投票率は61.88% 前回の投票率を4.6%下回る

12月4日に投票が行われた町長選挙の当日有権者数は、2万2,299人。投票率は、61.88%で、平成19年12月の町長選挙の投票率を4.6%下回りました。

開票は、午後7時50分から邑楽町役場3階大会議室で行われ、午後8時31分に開票が確定しました。結果は次のとおりです（得票順、敬称は略）。

金子 正一	6,720 票
久保田 文芳	3,905 票
大賀 孝訓	2,992 票
（無効票 182 票）	

子育て世代を支援するため、15歳までの医療費の無料化は今後も継続していきます。高齢者の福祉についても町の高齢化率は約22%と、本格的な高齢社会を迎える深刻な段階に突入しています。在宅介護をしている人の支援や施設サービスの拡充など、町としてできる支援を行っていききたいと思います。

やさしさと活気の調和した町づくりの基本は、町民の皆さんの健康です。その健康維持のお手伝いとして、保健センターや町内の医療機関などと連携して、町民の皆さんの健診や健康管理の支援を進めていきたいと考えています。

具体的には、子宮頸がん予防ワクチンやヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの無料化を引き続き実施することと合わせて、妊婦健診費用の無料化または負担軽減化を図ります。

快速で魅力ある町づくりには、住民と地域、そして行政がそれぞれの役割と責任を明確にして、相互に協力し合いながら進めていく必要があります。これまでの行政主体だけの町づくりでは、やはり限界があります。地域の実情に合わせた町民の皆さんとの協働の町づくりが、今の邑楽町に求められているのです。

町民と協働の 町づくりのために

そこで、町では自治組織や団体などの町づくり活動への支援を行うとともに、そのための補助制度についても費用対効果なども考慮しながら、検討させていただきたいと思っております。

未来ある 町づくりのために

今後、ますます厳しい行財政運営が予想されます。そうした中でも、町民の皆さんが、未来に向かって夢や希望が持てる町、住んでいて本当によかったと思える町づくりに進んでいくんだという信念のもと、全力で町政に取り組んでいく所存です。町民の皆さん、町議会議員の皆さんのご協力ご指導をいただけますようお願い申し上げます。

金子 正一 町長 Kaneko Masakazu



かねこ まさかず ● 1942年生まれ。町政に対する姿勢は「真面目にまっすぐに町づくり」。座右の銘は「誠実」。趣味は、ウォーキングなど。

活気のある 町づくりのために

農業では、農産物を生産するだけでなく、それを加工し販売するところまで視野に入れた事業を展開する「6次産業化※」を推進して、地場産の農産物を活用した施策を構築する必要があると思います。

その振興策として、東毛幹線道路（国道354号）の整備・進展に伴う邑楽町の地理的優位性を利用し、「道の駅」建設計画の検討を行い、

す。やさしさと活気の調和したまち「おうら」を目指すための、堅実な行財政運営をこれからも心掛けていきたいと考えています。

人にやさしい 町づくりのために

少子化対策、高齢者対策などは重要な問題。限られた予算の中でも、福祉サービスの充実を図ることが、人にやさしい町づくりの基本です。

町の活性化につなげていきたいと考えます。

※6次産業化 農業Ⅱ第一次産業の「1」と加工Ⅱ第二次産業の「2」と、流通Ⅲ第三次産業の「3」の数字を使って、1+2+3=6（または、1×2×3=6）でできた「6次産業化」という意味。

文化の薫り高い 町づくりのために

今後も学校教育などの環境整備を推進していきます。また、町民の皆さんが、いつでもどこでも学ぶことのできる生涯学習を支援するための環境整備が重要だと感じています。そのために、生涯学習の拠点として、ひいては町民文化活動の中心となる中央公民館の建設を推進していきます。

災害に強い 町づくりのために

東日本大震災を受け、防災計画の見直しを行い、災害時に即応できる危機管理体制の強化を図り、災害に強い町づくりを推進していきたいと考えています。そのためには、各地域の自主防災組織との連携強化を図ります。

町民の皆さんには、先般「邑楽町災害ハザードマップ」を全戸配布させていただきました。事前に各ご家庭で避難場所などの確認をしていた